

祝

令和3年

郡上市成人式



11月21日（日）に「令和3年 郡上市成人式」が、南部会場（郡上市総合文化センター）および北部会場（白鳥文化ホール）において挙行され、455人（南部211人、北部244人）のみなさんが、晴れて成人式を迎えました。今年の成人式は、新型コロナウイルス感染症の影響により2度の延期となりましたが、感染の波が収まっている状況下で感染対策を徹底した上で、無事開催することができました。新成人のみなさんは同級生との再会を喜び、会場は笑顔であふれています（両会場で289人が出席）。



「令和3年郡上市成人式」は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から2度の延期を余儀無くされました。

未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症の影響によって、日常生活のあり方が変化し、これから時代は、「生きる力」以上に「生き抜く力」が必要だとされています。多くの困難も予想される新しい時代を生き抜くには、めまぐるしく変化する社会に対応できる柔軟性、高い志や意欲をもって、自ら考え行動する主体性が必要となります。「生き抜く力」が、人生を豊かなものにしたいという信念や自信に繋がっていくのではないかでしょうか。

「郡上市スポーツ親善大使」の池江璃花子選手（母方の祖父が白鳥町出身）も、みなさんと同じく成人を迎えるました。彼女は、競泳界のエースとしての期待を一身に浴びる存在でしたが、2019年2月に白血病と診断され、競泳から一時離れることになりました。

厳しい闘病生活の中、自身を支えたのは、「何があっても水泳を続けたい」という強い意志と、「これを乗り越えたらまた一段と強くなつた自分が待っている」という希望だったそうです。ネガティブ思考になるときもあったようですが、「大丈夫、大丈夫、いつか終わる」とポジティブな感情を持ち続け、約10カ月の闘病生活を経て、2019年12月に退院されました。

東京2020オリンピック競技大会では、3種目に出場し、その内「競泳女子4×100メートルメドレーリレー」では8位入賞という成績を認められました。現在は2024年のパリオリンピックを目指し練習に取り組んでおられます。

本当に辛い状況を経験し、乗り越えてきた彼女の努力には、とても勇気づけられ、目標に向かって突き進む池江選手の「生き抜く力」を見るとともに、尊敬の念を抱くものであります。

人生は、楽しいことばかりではなく、壁に突き当り、悩み、辛い思いをすることもあります。そんな時、あなたの周りには、いつも見守ってくれる家族や仲間、人生の先輩がいるはずです。助けてもらうこと、支えてもらうこととは決して恥ずかしいことではありません。池江選手のように、何事もプラス思考で前向きに捉えていける考え方を磨き、逆境にくじけず、強く生き抜いてください。

みなさんの洋々たる前途に幸多からんことを祈念します。

市長式辞（抜粋）





実行委員会のみなさんから感想をいただきました！

- ◎コロナ禍の中でも対策に配慮しつつ、自分たちなりに最大限の対応ができて良かった。
- ◎2度の延期となつたが、式典がスムーズに進み、無事終えることができて安心した。
- ◎アトラクションがなかったけど、盛り上がることができて楽しかった。
- ◎久しぶりに友人に会うことができてうれしかった。
- ◎自分たちで成人式を企画することができて楽しかった。

新成人 誓いの言葉

※各中学校代表による誓いの言葉の内容の一部を要約して紹介します。



柳田蓮純さん
八幡中学校代表

「…」
「…」
「…」



和田 悠さん
八幡西中学校代表

11



可児 朗さん
郡南中学校代表



増田 瑛さん
明宝中学校代表



小森滉斗さん
郡上東中学校代表

私は高校を卒業したあと 東京で専門学校生として一人暮らしを始めました。上京してから、アルバイトなどを通じて自分の無力さや不甲斐なさを情けなく感じることもありましたが、落ち込んだ時には郡上にいた頃のたくさんの思い出が蘇ります。その思い出には家族や仲間と笑い合っている姿、喧嘩している姿など、自分一人ではなく誰かと行動を共にしている姿が出てきます。そして、私たちはたくさんさんの奇跡が重なったからこそ出会えたのだと感じています。

もし、郡上に住んでいなかつたら、生まれてきた年が一年でも違つたら、私たちは出会うことなく全く誰かもわからない見知らぬ人になつていきました。そんなたくさんの奇跡から出会う

あの瞬間に自分は生きている」ということは、決して握り直ぐとのない事実であり、そんな『いま』が積み重なって私をつくつていきます。それなら私は、「いまを生きていて良かつた」と思えるくらいの生き方をしたいです。人生はいいことばかりではなく、辛く、苦しいことだつてあるでしょう。しかし、それを学びのチャンスにするのか、マイナスな過去として消していくのか、それもすべて自身の考え方や捉え方によるのです。祖母が私に「いまのあなたは可能性に満ちあふれています。しかし未知数の自分がどう輝くかは、自分自身の姿勢で変わること」と教えてくれました。私は、誰と比べることなく、私もしく『いま』を生きてじきた

私が大学では「人間学」という自己を見つめ直す授業があり、そこで私は『いま』を大切に生きることを学びました。『いま』が人生で最も大切な瞬間だと思ふ。この瞬間を大切に生きる心をもつて、これからも自分らしく生きていくことをめざします。

私は高校卒業後、市内の会社に就職しました。現在は日々勉強の毎日ですが、先輩方に支えていただき、何とか仕事の意義もわかつてきて、少しですが役に立っているという実感も持つています。

私は高校を卒業してから郡上市で就職しました。仕事もそれなりに覚えできるようになりましたが、配置転換により私の担当が増えました。また一から覚えないといけないため不安でしたが、そこで逃げてはダメだと

A photograph of a young man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a red tie. He is standing at a podium, looking down and speaking into a silver microphone. The background is a plain, light-colored wall.

た。しかし、父が私の高校合格発表の当日、急に亡くなりました。そんな中で、何不自由なく高校を卒業することができたのは、全て家族のおかげです。家族を少しでも早く安心させたかったことが就職した理由です。今は、「自分が夢の仕事に就いていたらどうなっていたらう」と思つゝとはあっても、後悔はしていません。自然や人々の温かさに触れながら仕事や生活するのも悪くはないと思います。

私は高校卒業後、市内の会社に就職しました。現在は日々勉強の毎日ですが、先輩方に支えいただき、何とか仕事の意義もわかつてきて、少しですが役に立っているという実感も持てるようになってきました。

また、祖父も父も同じ会社に勤めていたことから、私を幼い頃から知っている人が多く、気軽に声を掛けただけます。私は、小さい頃からの夢のため進学を考えたこともありまし

私たちにとって10代最後の年となった2020年は、新型コロナウィルス感染症の影響により、誰もが思うようにいかない一年だったと思います。

しかし、だからこそ新たな出会いや発見があり、そしてこれまでの日常生活がどれほど幸せでかけがえのないものだったのかと、いうことも感じる事が出来ました。そんな中で今日、成人式が行え、仲間と再会できた事をとても嬉しく思います。

私は高校を卒業してから郡上市で就職しました。仕事もそれなりに覚えできるようになりましたが、配置転換により私の担当が増えました。また一から覚えないといけないため不安でしたが、そこで逃げてはダメだと必死に仕事を覚えました。まだまだ知識も技術も足りていませんが、私の目標は指導していくべきだった先輩を越える事なので、これからも目標を持ちながら一生懸命頑張りたいです。

私がこの20年を通して、最も学んだ大事にしていきたかったと、それは「人との出会い」です。小中学校を共に過ごした仲間、高校のクラスや部活動で出会えた仲間、大学で同じ志をもつて切磋琢磨してきた仲間、その出会いのおかげで私はここまで成長できたのだと思います。これからも、この出会えた奇跡に感謝して生きていくつもりと思います。

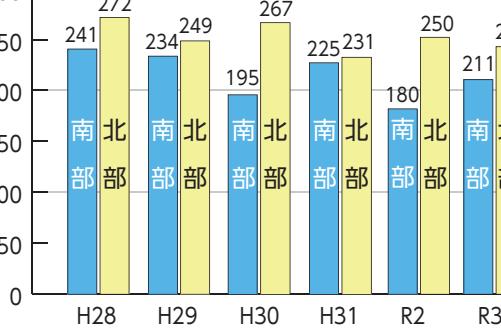
A photograph of a young man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a red tie. He is standing behind a podium with a microphone, looking down at some papers as he speaks. The background is a plain, light-colored wall.

成人を迎えた今、他人事ではなく一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、そして、自分にできることは何かを考え行動することが大切であると考えます。先日、私は地域の美化運動に参加しました。私の住む地域では若い人が少ないため、参加してくれて助かると地域のみなさんが喜んでくださり、地域の方になれたのだと喜びを感じるともに、コミュニケーションを取ることの大切さを学ぶことができました。

現在、日本では少子高齢化が急速に進展しています。年々高齢者が多くなっていく中で、より一層地域での支え合いは大切になってくると思います。そのため、私たち若者が地域と交流を深めるべく、地域のみなさんとコミュニケーションを取ることによって、世代を超えた人々の支え合いができる社会を作つていけると考え、それが郡上さらに日本の未来へと繋がっています。

私は高校卒業後、郡上で就職し、任された仕事を一つ一つやり切ろうと日々一生懸命働いています。今年はコロナの影響で週に2回しか出勤できない時期もありましたが、少しでも早く仕事を覚えて社会に貢献できるよう努力しています。例えそれが小さな一歩でも、世の中が良い方へ進めばと思い取り組んでいます。私だけでなく、ここに集まるみなさんも、コロナ禍の中でも一人ひとりが一生懸命学び、そして働かれていることだと思います。

郡上で生まれ育った私たちは世の中から見ればちっぽけな存在なのかも知れませんが、それが何ができるかを考え、一步一步、しっかりと歩いて行けばきっと、郡上、日本、世界の未来につながっていくのではないかと信じています。



成人を迎えた今、他人事ではなく一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、そして、自分にできることは何かを考え行動することが大切であると考えます。先日、私は地域の美化運動に参加しました。私の住む地域では若い人が少ないため、参加してくれて助かると地域のみなさんが喜んでくださり、地域の方になれたのだと喜びを感じるともに、コミュニケーションを取ることの大切さを学ぶことができました。

私は高校卒業後、郡上で就職し、任された仕事を一つ一つやり切ろうと日々一生懸命働いています。今年はコロナの影響で週に2回しか出勤できない時期もありましたが、少しでも早く仕事を覚えて社会に貢献できるよう努力しています。例えそれが小さな一歩でも、世の中が良い方へ進めばと思い取り組んでいます。私だけでなく、ここに集まるみなさんも、コロナ禍の中でも一人ひとりが一生懸命学び、そして働かれていることだと思います。

例えば、上司の指示を待つのではなく、自ら流れを考え、次に必要な作業をする。普段の生活でもインターネットの情報や他人の評価を鵜呑みにせず、自分で調べ様々な方面からの視点・価値観で考える。困っている人を見つけたら、その人の立場に立ち、今必要なことは何か考えて自分にできる手助けをする。こんな大人を私はめざします。

人生の節目を迎えた私たちは、今まで以上に自分の言葉・行動に責任を持たなくてはなりません。他力本願にならず、しっかりと考えてから行動することでそれぞれの抱いている目標に近づき、より良いこれからを築けるよう、日々精進していくたいと思います。



山下真弘さん
大和中学校代表



山下理奈さん
白鳥中学校代表



上野蔵人さん
高鷲中学校代表

◆今年の新成人は 455 人 (男244 人、女211 人)

◆新成人に現在の状況と郡上市で生活することについてのアンケート調査を実施しました

